

シリーズ 地の塩、世の光 file 25 ◎ 各界で「地の塩、世の光」として活躍するクリスチャン



あなたがたは地の塩である。
あなたがたは世の光である。

5:13-16 Matthew
マタイによる福音書 第5章13〜16節

飯田 さつき

Jazzシンガー、日本基督教団阿佐谷東教会員。
ベーンズの祖父、ジャズスクール学院長の父に続く、ジャズ家系三代目。14歳
よりジャズヴォーカルを後藤寿平氏に師事し、17歳でライブハウスデビュー。大学
在学中よりプロ活動を始め、受賞歴も数多く持つ。「JAZZ DAY 新人グランプリ
コンテスト」グランプリ受賞、「さいたま新都心JAZZ VOCAL CONTEST」審査
員奨励賞受賞、「日本ジャズヴォーカル賞」新人賞を、史上最年少で受賞。

塩であり、光であれ

「光あれ！あなたを見ていると、混沌とした世の中にも、必ずや光は見出せるのだ！」というのを確信します。」この言葉は、私の母校・恵泉女学園の当時校長でおられた安積力也先生から頂いたものです。私が受洗したのは、高校2年のクリスマスのこと。それまでヤンチャをやり、親や先生に迷惑をかけていたさまから神に導かれた様子を見て、安積先生がくださった受洗後の年賀状の言葉でした。

私と教会の出会い、母の影響です。母がクリスチャンで、母方の親族には牧師が4人もいる筋金入り。そんな母に連れられて、幼少の頃から教会に通ってました。行くのが当たり前の教会も、小学校高学年頃から、「なぜ私だけ日曜日に行かないといけないの？ 近所の友達は何やっていないのに……」と疑問を持ち始めました。そんな私のハテナは、中学にあがるとアンチ・キリスト教に変化していきます。中学から恵泉女学園に入学しましたが、思春期を迎え、自我の芽生えと共に道を逸れることも多くなりました。

そんななか、教区主催の韓日青少年交流キャンプに参加しました。国も、年齢や学校、教会も異なるのに、参加者は、円を描くように仲良くなりました。また、既に受洗している高校生から証詞を聞き、それは同年代とは思えない程、実に深く自分を見つめ語っているのもでした。そのことが、私自身とも向き合う衝撃的な機会となるのです。自分さえ楽しければ良いと勝手に生きてきたそれまでの

自分を、初めて浅はかだと顧みることができたのです。不真面目な私をも皆の輪の中に入れてもらえ、自分を見つめ直す機会が与えられ、誰をも神は見捨てないと気付かせてもらえたことに、神の存在を私はみえたのです。高1の夏でした。アンチ・キリスト教が、ラブ・キリスト教に変わった瞬間です。

「地の塩、世の光」。一見対照的な言葉ですが、私には同義的に感じられます。地の塩＝他者に味わいを持たせる為、役割を果たす。それは微量で目立たぬ存在であるが、その使命は大きい。世の光＝神から託された賜物を活かして周りを照らす。隠れることができぬ存在であるが、闇がなければ気が付かない。両者とも、他のものがあってこそ存在が光る「塩と光」、自分の為に活かすものではなく、他者の為に活かされる時に初めて「塩と光」となるのではないのでしょうか。誰も神から賜物を授かっており、それを活かす使命があるように思います。私は、この「声」を頂きました。歌を通して、誰かの人生にひと味を加え、心のよやに光を灯し、彩りをプラスできるような歌手でありたいと願うのです。

アメリカ ボストンのパーカー音楽大学のSummer Program受講を機に短期進米。本場New YorkのJAZZクラブで歌う機会を多く得られ、帰国後、CDデビューが決まる。今までに3枚のJazz Albumを発表しており、デビューアルバム「I Thought About You」は、JAZZ LIFE誌「2011年度ディスク・グランプリ」全世界Best35に選ばれた。2nd Album「Moon River」をきっかけに、レディ・ガガ&ニール・ペナルトやローリング・ストーンズなどと並び「ミュージック・ペンクラブ音楽賞 プライテスト・ホープ賞」を受賞。昨年、CDデビュー5周年、歌手生活10周年を迎え、銀座ヤマハホールでストリングス入りのAnniversary Concertを開催。

The Salt of the Earth, The Light of the World

シリーズ ・私の教会 file 75 Reformed Church in Japan Yokohama Central Church

日本キリスト改革派 横浜中央教会 五十嵐 遣



日本におけるプロテスタント教会発祥の地、横浜。この地で開拓伝道を開始し、来年で30周年を迎える私の教会は、相鉄線「天王町」駅から徒歩約5分、駅前の商店街の一角にあります。そこは元々はお蕎麦屋さんとメガネ屋さんがあった場所です。そしてお隣は焼き鳥屋さん、その先はお蕎麦屋さん、ちょっと珍しい立地です。ですので、時々教会前の道路がファミラの会場になります。（教会もファミラに参加し、地域の方々と交流をしています）

近所にはライバル(?)の橋樹神社という大きな神社があり、お祭りの時は教会の前に町内会役員さん用のテントが張られ、教会の駐車場が使えない！というような時もありますが、皆、毎週楽しく礼拝に集まっています。教会員有志の方の献金によって購入した隣接地に、昨年、画像のようなきれいな新礼拝堂が増築されました。元々の礼拝堂も新礼拝堂も、横浜伝道を期待する、教会内外からの多くの方々の献金や融資金によって建築可能となったものです。

新礼拝堂は、トラディションルスタ

ル、コンテンポラリースタイルのどちらの礼拝にも十分に対応できるように、楽器・PA、AV機器も完備されています。新会堂は、子どもからお年寄りまでが快適に礼拝を守れるよう、皆で知恵を出し合って建築しました。ちなみに長老(教会役員)のお一人が大工さんなので、内装や講壇、聖餐卓等は長老自らが製作されるという恵まれた仕様となっています。

また、主日礼拝のほか、日曜学校や、中高生礼拝、立石章三牧師による近隣の子どものための土曜子ども会(工作教室)等も盛んに行われています。そして、主日礼拝後は毎回、教会員の方々が持ち寄られる手作りのごはんとおかずを皆で分けあって、ちょっとした大家族のような楽しい時を過ごしています。

以上、駆け足で教会の外と中を簡単に紹介しました。最後に、「改革派教会」とは、今年500年を記念する宗教改革の伝統に立ち、とりわけジャン・カルヴァンの神学を基に、神の言葉(聖書)によって改革され続ける教会を意味しています。そのために立石

牧師は、講解説教と週報論壇(これはウェブサイトでご覧になれます)等を通してわたしたちに神様からの大切なメッセージを日々熱く語られています。小さな教会ですが、そこに集っている一人ひとりが大切な存在として、居場所のある教会です。お気軽にお越しください。お待ちしております。

礼拝 日曜日
9:30~10:30 子どもの教会学校(幼稚園~高校生)
10:45~12:15 朝の礼拝
16:00~17:00 夕の礼拝

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-4-5
TEL 045-331-0343
http://www.yokohama-chuuu.church/ 交通 相鉄線「天王町」駅下車 徒歩5分

幼稚園より

- 終業礼拝 7/14 金
- 始業礼拝 9/5 火
- 収穫感謝礼拝 10/24 火
- 創立記念礼拝(年長組) 11/17 金

初等部より

- こどもの日・花の日礼拝 6/12 月
- 召天者記念礼拝 6/20 火
- 1年生なかよしキャンプ 7/10 水



- 教職員退修会(修養会) 8/28-29 火
- 聖書週間特別礼拝 10/16 月
- となり人を覚える礼拝 10/24 火
- 宗教改革記念礼拝 10/31 火
- 創立記念礼拝 11/15 水
- 感謝祭礼拝 11/21 火

中等部より

- 緑蔭キャンプ 7/21 金
- CFワーク 9/2 土



- 老人ホーム奉仕(1、2年生) 日時未定
- 創立記念礼拝 11/10 金



表紙写真 大学 青山キリスト教学生会(ACF)の活動のようす

あなたの悩みに お応えします!

桑原 一利 青山学院 常務理事

相談

苦勞して大学に入学しましたが、燃え尽き症候群から勉強する意欲がわかず、勉強に打ち込む意義が見出せません。また将来なんのために働くかもわかりません。どうしたらいいのでしょうか……(大学生・男子)

あなたの悩み気持はよく理解できます。燃え尽き症候群とご自身で診断しておられるように、「ちょっと休みなさい」とあなたの脳があなたに命じているのでしょう。この悩みは、ちゃんぽらん人にはありません。あなたがまじめに勉強する人、やればできる人であることが質問から想像できます。世の中には、あなたのようにまじめな人が悩み試練がありますが、神の試練は意外なものです。

私も大学に入ったとき悩みましたが、意外な出来事が起きました。ある冬の日曜日、教会学校を終えて帰ろうとしたとき、S君という高校一年生が私のところに来て「ぼくは今まで英語を勉強しなかったので、成績が振るいませんでした。中学一年生から三年生

までの英語の教科書を持ってきましたので、英語を教えてくださいませんか」と真剣に聞きました。私たちは教会の寒い一室で五時間くらいかけて三年分の英語をすべて復習しました。彼は分らなかった構文も綴れなかった単語もなくなり、「ありがとうございました」と目を輝かせて礼を言い、暗闇の中に消えていきました。それから数カ月後にS君は天に召されました。その悲しいお葬式で、私は彼が手術不能な脳腫瘍に悩まされ、あの寒い日もドブに落ち、壁にぶつかりながら、力を振り絞って私のところに辿り着いたことを知りました。彼は五時間のあいだ頭痛に耐えて笑顔を絶やさなかったのです。私は今でも、S君のことを思い出すと涙が出ます。

S君は残された命が短いことを知っていました。英語を話す機会も、大学へ進学する機会も、国際社会で活躍する機会もないことを知っていました。それではなぜ、死ぬ前に英語を学ぼうとしたのでしょうか。神のみに立つと許せなかったのでしょうか。生かされてある日々を意義なく過ごす自分が嫌だったのでしょうか。

あなたには、将来があります。まずは休んでください。そのあと自分で考えて人の役に立つことを青山学院で学ぼうと誓って、世の中を見回してみてください。

私はあなたに逆に問います、試練の時も、安楽の時も、神のみに一日一日を真摯に生きる、それ以外に人が何ができるのかということ。

地の塩、世の光 THE SALT OF THE EARTH, THE LIGHT OF THE WORLD / MATT.5:13-14

WESLEY HALL NEWS

124th EDITION MAY 29, 2017

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。

あなたに降ると、あなたがたは力を受ける。

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。

「こんなはずではなかった」と考える あなたに聞いてほしいこと

樋口 玲子 高等部教諭

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。(エレミヤ書 29:11)

毎年この季節になると、私は自分が大学生になった春のことを思い出します。浪人してまで目指した志望校に入ることができず、悩んだ挙句、入学を決めたのは現役でも受かったであろう大学。一体何のために浪人したのか、本当にこの大学で良いのかと大きな挫折感を抱いてのスタートでした。おまけに最初の2週間を怪めで休んでしまいました。授業には出遅れ、仲良くなった友人たちとは自分が思うような付き合いをすることができず、こんなはずではなかったと思う毎日。出遅れたといっても授業についていけなかったわけではなく、親しかった友人ともうまく行かなかったわけではありません。しかし何かがついて、腰が持ち上がらない。朝起きてモタモタ支度をし、1限に間に合わず、2限から……とゆくりするうちに2限にも間に合わず、じゃあ午後から……と思うけれど立ち上がれない。そんな毎日でした。

2年生が終わると専門科目のほとんどを落としていました。このままでは4年で卒業することができない、という現実が目の前に突き付けられたそのとき、突然目の前の霞がリッと晴れたようになりました。行く

しかない、やるしかないだと思い、3年生で2年と3年の授業両方を受け、何とか単位も取ることができました。奇跡的な回復でした。

学校に行けなかった約2年間、私が唯一していたことは祈ることです。神様助けてください。ここから救い出してください、と毎日祈りました。祈ることで心の重荷を下ろしていたような気がします。下ろしても下ろしても重くのしかかっていると当時は感じていましたが、どんなに辛くても祈り続けていれば、いつか必ず神様が私に最善を与えてくださる、そう信じて祈っていました。

そして神様が思わぬ形で私に与えてくださったのが、この青山学院高等部の教員という道です。それは私の子どもの頃からの夢でした。1年浪人して入った大学は、私が就職する年に定年退職された、私の前任の先生の母校でした。1浪していなければ、その先生がお辞めになる時期に私が卒業することにはならなかったのです。そして学校に行けなかった経験は、同じ思いをする生徒の気持ちを理解する助けになっています。何一つ無駄なことではなく、すべては神様があらかじめ備えてくださった道でした。

今、皆さんの中にも、もしかしたら「こんなはずではなかった」と思っている人があられるかもしれません。でもどうか忘れないでください。すべては神様のご計画の内にあります。災いの計画ではなく、将来と希望を与える平和の計画です。そのことを信じ、祈りつつ歩み続けることができますように。

シリーズ 折り

私の切にねがっていることは、私の書物がことごとく捨てられて、消滅してしまうことである。(中略) 神に栄光、とこしえにあれ。アーメン

(マルティン・ルーター ヴィッテンベルク版「ドイツ語著作選集」第一巻序文 1539年序文より)

「なぜなら、洗礼者のヨハネが「あの方は栄え、私は衰えねばならない」(ヨハネ3章30節)と言っているように、聖書を指さなければならぬからである。」と語ったルーター。「草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。」(1ペトロ1章24〜25節)と信じる彼が、宗教改革を行ったのが1517年。今年はその500年の節目の年。(増谷直也 大主教部部長)

Wesley Hall News 第124号 2017年5月29日発行

発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 大島 力
東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-3409-6537 (ダイヤルイン)
(URL)http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html
(E-mail)agcac@aoyamagakuin.jp
編集 ウェスレー・ホールニュース編集委員会
印刷 株式会社 万全社

説教

真実に目が開かれる時

ヨハネによる福音書 第20章 11～18節

マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を選び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行つて、こう言いなさい、『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る。』」マグダラのマリアは弟子たちのところへ行つて、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。

あさ ほん かず やす
浅原 一泰
中等部宗教主任



言葉では伝えられないもの

「どんな言葉並べても 真実にはならないから 今日で贈ろう 涙色の花束を君に」。

昨年放映されたNHKの連続テレビドラマ小説「とと姉ちゃん」の主題歌に出て来る歌詞です。何をどう語っても、本当の気持ちを言い表したことはない。自分の本心を伝える言葉がない。そんな経験をしたことはないですか。愛する人に対して思いを伝えたいのに、信頼を寄せてくれる友の前ではっきりと自分の信念を伝えたいのに。先輩や教師から誤解され、疑いを晴らしたいのに語る言葉が見つからず、却って益々誤解されてしまったり、愛する相手が遠ざかってしまったり。「なんでもっと強く言えなかったのか」「なんでああいう言い方しか出来なかったのか」。そんな悔しい思いをして自分自身を責めたことのある人はきっと少なくないだろうと思います。どう言えば相手に思いが伝わったのか。そんなことを後から考えても、もう手遅れです。では、二度と失敗しないように万全の準備を整え、言うべき言葉の全てを用意した上で臨めば相手に伝わるのか。必ずしもそうとは言えないでしょう。

ある時、ふと伝わる瞬間

聖書の話を中学生に伝えるようになってから、ずっと悩んできたことがあります。聖書のいう「罪」をどう伝えれば良いか、ということです。この言葉の持つ否定的な意味合いに嫌気が差す生徒は少なくありません。人間は皆、罪人だと聖書は教えるけれども納得できない、だから聖書は好きになれない、そう言われたこともありました。ところがつい先日、高等部のウッドデッキで数人の生徒たちと昼休みに弁当を一緒に食べていたとき、ふとこんなことを私はしゃべっていました。「聖書の言う罪は、何か具体的に悪いことをしたとか、神を信じなければだめだとか、そういうことではなくて、自分の本当の生き方が未だ見つけられていない状態と言ったら良いと思う。だとすれば私も含めて、多くの人間は未だ罪の状態にあることになる。君たちもそうだろう」。すると生徒たちは皆、「なるほど」と頷いてくれました。思いが伝わったわけですから、それは、私が悩み続けてきたからではなく、無意識の内に咄嗟に、というよりも目に見えない何かに導かれるかのように出た言葉をだったのです。その時ふと、どんなに言葉を並べても伝えられない真実を伝えられた思いがしました。

真実に気づき、それを伝えるには

真実。それは言葉を巧みに操れば伝えられるものではありません。鮮やかに彩られた文章で綴られたものは、却って相手に不快感を与えることもあります。むしろ真実とは気づきたいのに気づけないものであり、伝えたいのに伝える言葉が見つからなくて悩み苦しむざるを得ないものではないかと思えます。2000年前、十字架の上で死んだイエスがよみがえられた。それは神がこの世に示した真実であると聖書は伝えています。しかし、その真実を受け止めることの出来る人間は初めは誰もいなかった。イエスの一番近くにいるマグダラのマリアもそうでした。イエスを失った悲しさに泣き崩れるしかなかった彼女は、その亡骸が納められた墓の中からイエスがなくなってしまうことを知って更に嘆き悲しみます。一度や二度の失敗で人生全てが台無しになったかのように否定的にしか物事を考えられない私達の姿を代弁しているかのようです。しかしそのマリアに先ず天使が語りかけ、振り向かせま

す。そこには復活したイエスが立っていました。それがイエスだとは気づかないマリアに今度はイエス自ら語りかけます。それでも気づかない彼女に対して最後にイエスは「マリア」と彼女の名前を呼びました。それは、死んだイエスに二度と会えないと苦しんでいたマリアが、イエスは死からよみがえって共におられること、真の命は死んでも終わるものではないこと、その真実に気づかされた瞬間でした。

私達を真実に気づかせる神の力、イエスの力を聖霊と言います。2000年前、その聖霊が弟子たちの上に注がれ、彼らが大胆にイエスの復活を語り始めた記念日をペンテコステと言います。マリアが復活のイエスに気づくことが出来たのも、彼女の思いからではなく聖霊の働きでした。そしてマリアはその真実を「わたしは主を見ました」とストレートに弟子たちに伝えます。それも聖霊がマリアに言わせた言葉でした。「どんなに言葉を並べても真実にならない」思いを届ける言葉が必ずある。その言葉を与えてくれる力。それが聖霊であると聖書は証しています。

高等部より

ペンテコステ礼拝
6/6 火 高等部PS講堂
伝道週間
6/6 火 - 9 金 高等部PS講堂
グリーンキャンブ
7/23日 - 25 火 高等部追分寮
秋の伝道週間
10/23日 - 27 金 高等部PS講堂
創立記念礼拝
11/16 木 高等部PS講堂
保護者聖書の集い
具体的な日時「[高等部便り]」でお知らせ致します。

女子短大より

ペンテコステ礼拝
6/5 12:35-13:05 女子短期大学礼拝堂
説教 吉岡 康子(短大宗教主任)
第13回 東日本大震災被災地支援ボランティア
8/2 水 - 9 水 岩手県宮古市



Special Issue : Welcome to Aoyama Gakuin

特集 ようこそ、青山学院へ

出会いと発見の喜びに満ちて始まった、学院生活。各部の方に、新しい仲間に向けた言葉をいただきました。

嬉しい時も寂しい時も

矢部 尚子
幼稚園教諭

ご入園おめでとうございます。今、幼稚園の庭では色とりどりの花が咲いています。さらに今年の3月には2匹のかわいい子ウサギが誕生し、愛らしい命が輝いています。まるで年少組の皆さんを嬉しくお迎えしているようです。

入園後、皆さんは好きなことをして遊びますが、中にはドキドキして涙が沢山でている方がいるかもしれません。そんな我が子の姿に保護者の方も胸がいっぱいになっていることでしょう。けれどもどうぞ安心してください。私たち保育者は嬉しい時はもちろん不安な時や寂しい時も、その時々のお気持ちに寄り添い支えてまいります。

昨年度の年少組のAちゃんが入園当初、お母様と離れる時に涙が沢山でいた女の子でした。「お母さんが一番よね。」と保育者に受け止められ、好きな絵の具やおまごごとをする日々を重ねながら次第に「ママ、バイバイ」と手を振り、笑顔で遊ぶようになりました。今ではあの涙を忘れてしまう程、のびのびと過ごしています。

私たちの生活の中心にはいつも神様が共にいてくださいます。神様は目には見えませんが、子ウサギの誕生や、皆で育てた野菜の収穫、毎日の祈りや讃美歌、そして礼拝を守ることなど様々なことを通して神様のお守りを確かに感じています。

聖書には「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」(新改訳 イザヤ書43:4)とあります。一人一人がかけがえのない存在として神様の大きな愛に守られながら、嬉しい時も悲しい時も共に歩み、心も身体も大きくなっていきます。

さあ、これからどんなことが待っているでしょう! 年中・年中長組のお兄さんやお姉さんも皆さんと一緒に過ごすことを心から楽しみにしています。



1年生にむけて

田代 真理枝
初等部2年

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございませう。みなさんは、学校生活になれましたか。6年生のパートナーさんと、2年生のパートナーさんに会うことができましたか。

パートナーさんは、やさしく大切な人です。声をかけてくれるし、きょう食を食べるのがおそくなって、となりについておうえんしてくれます。だから、顔をみるとうれしくて心がほかほかします。これからどんどんパートナーさんとよくなっていってください。

1年生の夏休みには、なかよしキャンプがあります。しよとうぶのみんなで行くはじめてのキャンプです。なきたくなくても、先生や友だちがいるので大げうぶです。楽しいこともたくさんあります。工作をしたり、おたん生目の子がいたらおたん生会をしたりします。わたしがなかよしキャンプで一番うれしかったことは、せい書をいただいたことです。そしてはじめて、「しんこうをたてとしてとりなさい。」(エフェソのしんとへの手紙6:15-18)という箇所があります。中等部では勉強、部活とそれぞれに超えなくてはならない壁(難題)があります。

僕はラグビー部に所属していますが、初等部のころと比べると中等部では練習量が増え、つらいと思う時もありました。試合で勝つためには厳しい練習が不可欠である事も確かです。しかし、険しい壁を乗り越えてこそ、厳しい試合の中で勝った時にこみ上げてくる喜びはとてもの大きなものだと思えます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」「(IIコリント4:17-18)という箇所があります。中等部では勉強、部活とそれぞれに超えなくてはならない壁(難題)があります。

僕はラグビー部に所属していますが、初等部のころと比べると中等部では練習量が増え、つらいと思う時もありました。試合で勝つためには厳しい練習が不可欠である事も確かです。しかし、険しい壁を乗り越えてこそ、厳しい試合の中で勝った時にこみ上げてくる喜びはとてもの大きなものだと思えます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」「(IIコリント4:17-18)という箇所があります。中等部では勉強、部活とそれぞれに超えなくてはならない壁(難題)があります。

3学級には、2年生からこまとお手玉を教えてもらいます。すぐにできなくても、れんしゅうをしているとみんなできるようになります。

おべんきょうは、国語、算数、生活、音楽、図工、体育、氷えい、えい語、まいげのおさん歩むたのしいです。

みなさんも青山学院しよとうぶの生活をたくさんたのしんでください。



見えないものを糧にして

北尾 大河
中等部3年

新入生の皆さんようこそ! 中等部では今年度から新校舎になり新しい仲間も増え、みんなときき、わくわくしています。僕は中等部でこの2年という短い期間ですが、たくさんのお話を学び、経験しました。会長として学友会(生徒会)の仕事が始まり、部活、勉強ととても充実した日々を過ごしています。僕は幼稚園から青山学院に通っている事もあって、礼拝は自分の中でごく自然なものでした。しかし、礼拝という新しいものに出会い、戸惑う人もいます。そこで神様に出会い、礼拝のお話の中でまたは聖書の御言葉のなかで、自分の好きな言葉や自分の心に響く言葉を見つけてそれぞれの成長の糧にしてほしいと思います。聖書の中に「わたしたちの一時の軽い難題は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」「(IIコリント4:17-18)という箇所があります。中等部では勉強、部活とそれぞれに超えなくてはならない壁(難題)があります。

僕はラグビー部に所属していますが、初等部のころと比べると中等部では練習量が増え、つらいと思う時もありました。試合で勝つためには厳しい練習が不可欠である事も確かです。しかし、険しい壁を乗り越えてこそ、厳しい試合の中で勝った時にこみ上げてくる喜びはとてもの大きなものだと思えます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」「(IIコリント4:17-18)という箇所があります。中等部では勉強、部活とそれぞれに超えなくてはならない壁(難題)があります。

3学級には、2年生からこまとお手玉を教えてもらいます。すぐにできなくても、れんしゅうをしているとみんなできるようになります。

おべんきょうは、国語、算数、生活、音楽、図工、体育、氷えい、えい語、まいげのおさん歩むたのしいです。

みなさんも青山学院しよとうぶの生活をたくさんたのしんでください。



小さな幸せ

平山 安澄
高等部3年

新学期の初日など、節目の日が来ると、新しい抱負や出会いに胸を高鳴らせるのと同時に、毎回思うことがあります。それは、終わりへのカウントダウンの始まりだな、ということです。

だいたい後ろ向きの発想のようにも聞こえますが、実際私は中等部から青山学院に入学し、今年度で6年目を迎えますが、これまでの月日があまりにもあっという間に過ぎてしまったことにいつも驚かされるのです。

前はただこのことに呆然としていました。しかし、これまでの学校生活で出会った人の顔を思い浮かべると、このカウントダウンを遡る様に捉えるようになります。残りの日数は誰かを傷つけてしまったりできない数でもあり、逆に喜びを分かち合うことができる機会の数でもあるのだと思うようになったのです。そうすると出会いの一つひとつを大事にできると共に、相手に対して自分が何ができるのか、自然と考えられるようになると思います。

私の好きな讃美歌に「愛の業は小さくても神のみ手が働いて悩みの多い世の人を明るく清くするでしょう」(讃美歌II編26番)という詞があります。挨拶やお礼を声に出したり、困っている人に手を差し伸べたり、ちょっとした心遣いをしたりと、私たちにできることはとても小さなことです。しかし、神様はいつも目を留めてくださいます。そしてそれを誰かの幸せに変えてくださるのです。だから、私が誰かにしてもらったとちょっと心が軽やかになったり、温かみを感じたりするときに、その小さな行いは誰かにちょっとだけ幸せを感じてもらえると思います。私はそのようにして、限られた学校での時間を過ごしたいです。

皆さんも小さな行いへ目を向けてみてください。きっと皆さんも誰かに小さな幸せを運ぶ存在になれると思います。



出会いと気づき

三浦 愛永
女子短期大学 子ども学科2年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい環境の中で、期待に溢れている人、不安がある人、様々だと思います。青山学院女子短期大学(青短)で一年間過ごした私は、今この学校に通うことができていることをとても幸せに思います。沢山の素敵な出会いに恵まれ、同じ夢や目標を持った仲間と学ぶことができている日々は、とても充実感のあるものです。

是非、色々な事に挑戦してみてください。青短には、挑戦する機会が沢山用意されています。私は、宗教活動委員会の委員長を務める事になり、活動していく中で色々な出会いや経験の機会を頂いています。それは、私にとって大きな財産であり、さらにこれから意味のあるものとなっていくのだと思います。

私はクリスチャンですが、それまで学校では周りにクリスチアを信じている人はほとんどいませんでした。変わってるとか偏見を持たれることが嫌で、あまり言いたくありませんでしたし、普通であることが私の中で大事な価値観でした。しかし、青短では授業の中でクリスチアを学び、週3回の礼拝は誰でも出席できます。このような環境の中で過ごすうちに、信仰という壁をあまり感じなくなり、周りの友達にとっても、自分にとっても身近なものになっていることに気づきました。いろいろな人と出会ってかわかることで、みんなそれぞれ素敵なところがあると感じ、「普通」にこだわっていた私は「自分らしさ」を大切にしたいと思うようになりました。

新しい環境や人との出会いは、初めは勇気があることですが、新しい自分の発見や気づきのきっかけになると実感しました。この春、皆さんが青短に入学し同じ場で学ぶことができるのも、神様のお導きです。そのことに感謝して、素敵な学生生活になることを祈っています。



新入生の皆さんへ

三浦 万奈
大学 総合文化政策学部2年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがどのような期待を持って、これから大学生活を送ろうとしているのかを考えた時、ふと一年前の自分を思い出しました。

私は、クリスチャンであり、キリスト教の大学に通えることを嬉しく思っていました。そんな私は入学当初、何か新しいことをしたい、誰かの役に立ちたいという思いで、青年のボランティア団体「Roote」に入り、ネパールと熊本二つのプロジェクトに所属し活動しました。特に熊本プロジェクトは、昨年4月の地震をきっかけに始動したばかりで、ボランティアをコーディネートする立場として、自分はどうありたいかを考えさせられた一年でした。

夏の活動では、避難所に泊まり込みで10日間滞在し、ボランティアセンターでNGO団体の方々と働いたり、活動を通して熊本の人々の温かさに触れたり、大変貴重な経験をしました。それらを含め昨年は三度熊本を訪れ、今では第二の故郷のようです。2月には衛生教育をはじめとする活動をし、ネパールにも行ってきました。

どちらのプロジェクトも、ハードでしたが、その中でも神様に守られていたことに感謝です。また、ボランティア活動を通してスクールモットーである「地の塩、世の光」として神様のために働くことは素敵なことだと感じました。

皆さんのキャンパスライフはまだ始まったばかりで、たくさん可能性が与えられています。新しいことを始めたら、きっと新しい自分を発見できます。机上の勉強だけでは味わえないようなワクワクすることを是非これから見つけてみてください。皆さんの大学生活が神様の恵みに溢れたものとなりますように。



大学より

ペンテコステ礼拝
6/5 木 青山・相模原
清里サマー・カレッジ
8/2 水 - 4 金
創立記念礼拝
10/16 日 相模原
11/15 水 女子短期大学礼拝堂
説教 吉岡 康子(短大宗教主任)

チャペル・ウィーク(後期)
10/16 日 - 20 金 青山・相模原
各界で活躍しているクリスチャンの方に礼拝でお話をさせていただきます。

創立記念礼拝
11/16 木 青山・相模原

本部より

オール青山ハンドベルコンサート
9/9 土 ガウチャー記念礼拝堂
学院創立143周年記念礼拝
11/15 水 ガウチャー記念礼拝堂
Art クリスマス Aoyama
12/5 火 - 13 水 キャラリ-他
クリスマス・ツリー点火祭
12/1 金 相模原
全学院の礼拝として行います。どうぞご出席ください。